

不適切な投稿について

いじめ防止対策等推進事業（京都府教育委員会）

インターネットには、写真や動画、文章などを手軽に投稿できるサービスがあります。友だち同士でコミュニケーションをとることもできるので、日常的にこうしたサービスを利用している子どもたちも少なくありません。

しかし、中には不適切な投稿をしてしまう子どもたちもあり、大きな問題となっています。

インターネット上の不適切な投稿の例

子どもたちによる不適切な投稿の例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・公共の場で迷惑行為をしているもの
- ・立ち入り禁止場所に進入して撮影しているもの
- ・撮影禁止場所で撮影しているもの
- ・飲酒・喫煙が疑われるもの
- ・授業中の様子を撮影しているもの
- ・爆破や殺人などの犯行予告



不適切な投稿をするとこんな事態に……

インターネットに不適切な投稿をすると、投稿を見つけた人がその情報をSNSなどに載せて、さらにそれを見た人が自分のアカウントに掲載し……というふうに情報が拡散されていくことがあります。

そうすると、投稿者の個人特定がはじまります。たとえ自分の個人情報を詳しく載せていなかったとしても、安心はできません。過去の投稿や友だちの投稿などを探られ、名前や学校名、顔写真、居住地などの情報を特定されることがあるのです。

個人を特定されると、不適切な投稿とあわせて自分の個人情報をインターネット上に掲載されてしまいます。こうした情報をすべて消去することは難しく、インターネット上にずっと残り続けてしまうことになり



まとめサイト



〇〇県〇〇
学校の××B
男くんが喫
煙をしてい
ます。

※爆破や殺人などの犯行予告に関しては、周囲に大きな影響を与えてしまうため、実際に犯行をおこなうかどうかにかかわらず犯罪としてあつかわれ、警察の捜査対象となる可能性があります。

インターネットに不適切な投稿をする人たちの多くは、知らない人が自分の投稿を見ることはないだろうと考えて、友だちだけに見せるつもりで投稿しているものと思われます。しかし、インターネット上には、おもしろ半分で不適切な投稿を見つけ出して情報を拡散し、投稿者の個人特定をしようとする人もいます。

また、友だちだけが自分の投稿を見ることができるサービスでも、友だちが投稿を保存し、他の友だちに送るなどして情報が広まっていくことがあります。



不適切な投稿は、進学や就職など、子どもたちの将来にまで悪影響を及ぼすものです。子どもたちには、自分の投稿を誰が見ているかわからないこと、一度投稿したら情報をすべて消去することは難しく、インターネット上に残り続けてしまうことを理解させ、インターネットに投稿する前に、不適切な内容が含まれていないか必ず確認する習慣をつけるよう指導していくことが大切です。